



## 第73回

# 桜陵祭

テーマ「煌」

7月2日（金）・3日（土）に第73回桜陵祭が行われました。今年のテーマは「煌」です。全校生徒1人1人が輝ける文化祭にしたいという思いが込められました。2年ぶりの2日間開催ということもあり、文化祭企画実行委員会を中心に、クラスやクラブで張り切って準備をする姿が見られました。

### 1日目 開祭式・校内見学・前夜祭

体育館では、常にソーシャルディスタンスを保てるよう、生徒は1m間隔で並べられた椅子に座る形で開祭式が行われました。1年生が制作したステージバックを背景に文化祭企画実行委員長による開催宣言がなされ、桜陵祭が幕を開けました。開祭式後は、校内見学・前夜祭が行われ、前夜祭では文化部・3学年・有志の計14の団体がステージ発表をし、盛大な盛り上がりを見せていました。



### 2日目 限定公開・開祭式・後夜祭

2日目の限定公開では、感染症対策として来場者を保護者の方限定とし、チケット制のご案内になりました。限定公開では、第1体育館・格技室にて文化部のステージ発表・展示発表が行われ、多くの保護者の方々にご来場いただき、賑わいを見せていました。



後夜祭では、LGBTQへの理解に繋がりたいという思いから毎年行っていたミス・ミスターコンテストを廃止し、「誰もが楽しめる」というコンセプトのもと、新たに「辰野高校グランプリ」が開催されました。「面白い人・歌が上手い人・筋肉自慢・特技自慢」がそれぞれベスト3形式で発表され、大いに盛り上がりを見せていました。

フィナーレは毎年恒例の打ち上げ花火です。今年は感染症収束への願いや地域への感謝を込め、「地域を元気づける」という意味での花火にもなりました。そのため、町内の広い範囲から見え、自宅からでも楽しんでいただけるようにと、辰野町のご支援もいただき、規模を拡大して盛大に45発を打ち上げて今年の桜陵祭は幕を閉じました。

限定公開にするなどまだまだ規制がある中での開催でしたが、たくさんの方々のご協力もあり、生徒1人1人が輝き、最高の文化祭となりました。



辰野町のイメージキャラクター「びっかりちゃん」の顔をモチーフにした花火も打ち上げられました



# 桜 陵太鼓部 全国総文祭 出場！

桜陵太鼓部が、8月3日～5日に行われた全国総文祭「紀の国わかやま総文祭」の郷土芸能部門に出場しました。

## 部長（3年4組 五味香弥菜）より「わかやま総文祭に込めた思い」

私達桜陵太鼓部は、8月に和歌山県で開催された全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）に出場してきました。今年はコロナウイルスの影響で、練習の成果を発揮する場が少なくなっていました。わかやま総文祭の開催も危うい中、必死に練習を重ねました。テスト期間は朝部活を行ったり、本番に備え体育館での練習も行いました。私達にとって全国大会の出場は初めてであり、緊張や不安、また楽しみな部分もありました。様々な感情を抱え、迎えた本番では部員一人一人が練習の成果を全力で発揮し最高の演奏をすることができました。

このわかやま総文を通して、学んだことや感じたことを、これからの練習に活かし、第17代らしく新たな桜陵太鼓部を築きあげて行きたいです。



# 商業科 ほたる祭で販売実習！

6月11日～20日に開催された「第73回信州辰野ほたる祭り」の「辰野町の地元イチ！」（11日～13日）に商業科3年生が販売実習という形で参加をしました。

## 参加生徒（3年4組 木下陸）より

準備では、企業の方との打ち合わせや、お店のパネルやのぼりを制作しました。どんなデザインにしたらお客さんが来てくれるのかを考えながらの制作は予想以上に大変でしたが、当日制作したものが設置されているのを見てとても感動しました。業務内容は主に、商品の宣伝や販売です。コロナ感染対策についての呼びかけも行いました。クラスメイトがそれぞれの仕事に一生懸命取り組んでいる姿はとてもかっこよく、頼もしかったです。今回の販売実践で学んだことは「あいさつと仲間の大切さ」です。笑顔であいさつをすればお客様と気持ちよくコミュニケーションをとることができたので、社会に出た際に心がけたいと思いました。また、今回商業科は検定や準備で休みがほぼない中で当日を迎えましたが、お互い支え合いながら乗り越えられたと思います。とても良い経験となりました。



## 辰野高校ホームページ更新中！

日々の出来事・行事予定など最新情報を発信しています。各検索エンジンで「辰野高校」と検索！（右のQRコードを読み取ることでHPに飛べます。）

<https://www.nagano-c.ed.jp/tatsukou/>

